

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名:福井県)(地区名:中名田)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
5. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の( )には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名:福井県)(地区名:中名田)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価	
大項目	中項目	小項目					
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A	
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	8,644	A	
			スマート農業技術等の導入	—	○	A	
			大区画化ほ場の割合	%	74.1	A	
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	2,933 2	A	
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	203.9	A	
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	200.0		
		農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	100.0	A
	担い手への面的集積率			%	100.0	A	
			農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	120.5 19.9	A
		農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,038	A
			農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	—	— ○	B
		多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A
		環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A
	生態系・景観への配慮		①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	—	—
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する関係市町村の同意状況 ②事業推進協議会から着工要望の提出 ③維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ④事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	88.2	A

## 中名田地区の事業の効用に関する説明資料

### 1 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	3,509,796
当該事業による費用	②	2,625,303
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	884,493
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	48年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	7,300,624
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	2.08

#### (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点)	当該事業に よる費用	関連事業 による費 用	再整備費	資産価額 (評価期間 終了時点)	総費用
		①	②	③	④	⑤	⑥= ①+②+③ +④-⑤
当該事業	区画整理	-	2,625,303	-	753,406	288,411	3,090,298
	計	-	2,625,303	-	753,406	288,411	3,090,298
その他	頭首工	108,013	-	-	331,690	20,205	419,498
	計	108,013	-	-	331,690	20,205	419,498
合 計		108,013	2,625,303	-	1,085,096	308,616	3,509,796

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	効果の要因
<b>食料の安定供給の確保に関する効果</b>			
作物生産効果		10,369	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		395,983	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 2,685	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
<b>多面的機能の発揮に関する効果</b>			
景観・環境保全効果		19,950	区画整理にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果
<b>その他の効果</b>			
国産農産物安定供給効果		7,383	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		431,000	

(4) 総便益額算出表－1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	9,142	1,227	0.0	0	9,142	8,790	
2	R9	1.0816	2	9,142	1,227	6.4	79	9,221	8,525	
3	R10	1.1249	3	9,142	1,227	19.5	239	9,381	8,339	
4	R11	1.1699	4	9,142	1,227	32.6	400	9,542	8,156	
5	R12	1.2167	5	9,142	1,227	45.7	561	9,703	7,975	
6	R13	1.2653	6	9,142	1,227	58.8	721	9,863	7,795	
7	R14	1.3159	7	9,142	1,227	71.9	882	10,024	7,618	
8	R15	1.3686	8	9,142	1,227	85.0	1,043	10,185	7,442	
9	R16	1.4233	9	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	7,285	
10	R17	1.4802	10	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	7,005	
11	R18	1.5395	11	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	6,735	
12	R19	1.6010	12	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	6,477	
13	R20	1.6651	13	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	6,227	
14	R21	1.7317	14	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	5,988	
15	R22	1.8009	15	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	5,758	
16	R23	1.8730	16	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	5,536	
17	R24	1.9479	17	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	5,323	
18	R25	2.0258	18	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	5,118	
19	R26	2.1068	19	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	4,922	
20	R27	2.1911	20	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	4,732	
21	R28	2.2788	21	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	4,550	
22	R29	2.3699	22	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	4,375	
23	R30	2.4647	23	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	4,207	
24	R31	2.5633	24	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	4,045	
25	R32	2.6658	25	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	3,890	
26	R33	2.7725	26	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	3,740	
27	R34	2.8834	27	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	3,596	
28	R35	2.9987	28	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	3,458	
29	R36	3.1187	29	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	3,325	
30	R37	3.2434	30	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	3,197	
31	R38	3.3731	31	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	3,074	
32	R39	3.5081	32	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	2,956	
33	R40	3.6484	33	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	2,842	
34	R41	3.7943	34	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	2,733	
35	R42	3.9461	35	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	2,628	
36	R43	4.1039	36	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	2,527	
37	R44	4.2681	37	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	2,429	
38	R45	4.4388	38	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	2,336	
39	R46	4.6164	39	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	2,246	
40	R47	4.8010	40	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	2,160	
41	R48	4.9931	41	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	2,077	
42	R49	5.1928	42	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	1,997	
43	R50	5.4005	43	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	1,920	
44	R51	5.6165	44	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	1,846	
45	R52	5.8412	45	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	1,775	
46	R53	6.0748	46	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	1,707	
47	R54	6.3178	47	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	1,641	
48	R55	6.5705	48	9,142	1,227	100.0	1,227	10,369	1,578	
合計 (総便益額)									214,601	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	宮農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 1,462	397,445	0.0	0	△ 1,462	△ 1,406	
2	R9	1.0816	2	△ 1,462	397,445	6.4	25,436	23,974	22,165	
3	R10	1.1249	3	△ 1,462	397,445	19.5	77,502	76,040	67,597	
4	R11	1.1699	4	△ 1,462	397,445	32.6	129,567	128,105	109,501	
5	R12	1.2167	5	△ 1,462	397,445	45.7	181,632	180,170	148,081	
6	R13	1.2653	6	△ 1,462	397,445	58.8	233,698	232,236	183,542	
7	R14	1.3159	7	△ 1,462	397,445	71.9	285,763	284,301	216,051	
8	R15	1.3686	8	△ 1,462	397,445	85.0	337,828	336,366	245,774	
9	R16	1.4233	9	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	278,215	
10	R17	1.4802	10	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	267,520	
11	R18	1.5395	11	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	257,215	
12	R19	1.6010	12	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	247,335	
13	R20	1.6651	13	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	237,813	
14	R21	1.7317	14	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	228,667	
15	R22	1.8009	15	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	219,881	
16	R23	1.8730	16	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	211,416	
17	R24	1.9479	17	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	203,287	
18	R25	2.0258	18	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	195,470	
19	R26	2.1068	19	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	187,955	
20	R27	2.1911	20	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	180,723	
21	R28	2.2788	21	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	173,768	
22	R29	2.3699	22	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	167,088	
23	R30	2.4647	23	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	160,662	
24	R31	2.5633	24	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	154,482	
25	R32	2.6658	25	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	148,542	
26	R33	2.7725	26	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	142,825	
27	R34	2.8834	27	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	137,332	
28	R35	2.9987	28	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	132,052	
29	R36	3.1187	29	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	126,971	
30	R37	3.2434	30	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	122,089	
31	R38	3.3731	31	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	117,394	
32	R39	3.5081	32	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	112,877	
33	R40	3.6484	33	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	108,536	
34	R41	3.7943	34	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	104,363	
35	R42	3.9461	35	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	100,348	
36	R43	4.1039	36	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	96,489	
37	R44	4.2681	37	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	92,777	
38	R45	4.4388	38	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	89,209	
39	R46	4.6164	39	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	85,777	
40	R47	4.8010	40	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	82,479	
41	R48	4.9931	41	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	79,306	
42	R49	5.1928	42	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	76,256	
43	R50	5.4005	43	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	73,323	
44	R51	5.6165	44	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	70,504	
45	R52	5.8412	45	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	67,791	
46	R53	6.0748	46	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	65,185	
47	R54	6.3178	47	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	62,677	
48	R55	6.5705	48	△ 1,462	397,445	100.0	397,445	395,983	60,267	
合計 (総便益額)									6,718,171	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 2,137	△ 548	0.0	0	△ 2,137	△ 2,055	
2	R9	1.0816	2	△ 2,137	△ 548	0.0	0	△ 2,137	△ 1,976	
3	R10	1.1249	3	△ 2,137	△ 548	0.0	0	△ 2,137	△ 1,900	
4	R11	1.1699	4	△ 2,137	△ 548	0.0	0	△ 2,137	△ 1,827	
5	R12	1.2167	5	△ 2,137	△ 548	0.0	0	△ 2,137	△ 1,756	
6	R13	1.2653	6	△ 2,137	△ 548	0.0	0	△ 2,137	△ 1,689	
7	R14	1.3159	7	△ 2,137	△ 548	0.0	0	△ 2,137	△ 1,624	
8	R15	1.3686	8	△ 2,137	△ 548	0.0	0	△ 2,137	△ 1,561	
9	R16	1.4233	9	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,886	
10	R17	1.4802	10	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,814	
11	R18	1.5395	11	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,744	
12	R19	1.6010	12	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,677	
13	R20	1.6651	13	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,613	
14	R21	1.7317	14	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,550	
15	R22	1.8009	15	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,491	
16	R23	1.8730	16	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,434	
17	R24	1.9479	17	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,378	
18	R25	2.0258	18	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,325	
19	R26	2.1068	19	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,274	
20	R27	2.1911	20	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,225	
21	R28	2.2788	21	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,178	
22	R29	2.3699	22	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,133	
23	R30	2.4647	23	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,089	
24	R31	2.5633	24	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,047	
25	R32	2.6658	25	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 1,007	
26	R33	2.7725	26	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 968	
27	R34	2.8834	27	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 931	
28	R35	2.9987	28	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 895	
29	R36	3.1187	29	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 861	
30	R37	3.2434	30	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 828	
31	R38	3.3731	31	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 796	
32	R39	3.5081	32	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 765	
33	R40	3.6484	33	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 736	
34	R41	3.7943	34	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 708	
35	R42	3.9461	35	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 680	
36	R43	4.1039	36	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 654	
37	R44	4.2681	37	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 629	
38	R45	4.4388	38	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 605	
39	R46	4.6164	39	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 582	
40	R47	4.8010	40	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 559	
41	R48	4.9931	41	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 538	
42	R49	5.1928	42	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 517	
43	R50	5.4005	43	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 497	
44	R51	5.6165	44	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 478	
45	R52	5.8412	45	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 460	
46	R53	6.0748	46	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 442	
47	R54	6.3178	47	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 425	
48	R55	6.5705	48	△ 2,137	△ 548	100.0	△ 548	△ 2,685	△ 409	
合計 (総便益額)									△ 53,216	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	景観・環境保全効果						備考
				更新分に 係る効果		新設及び機能向上分 に係る効果		計		
				年効果額 (千円) ②	年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 割引 率 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	19,950	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	19,950	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	19,950	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	19,950	0.0	0	0	0	
5	R12	1.2167	5	-	19,950	0.0	0	0	0	
6	R13	1.2653	6	-	19,950	0.0	0	0	0	
7	R14	1.3159	7	-	19,950	0.0	0	0	0	
8	R15	1.3686	8	-	19,950	0.0	0	0	0	
9	R16	1.4233	9	-	19,950	100.0	19,950	19,950	14,017	
10	R17	1.4802	10	-	19,950	100.0	19,950	19,950	13,478	
11	R18	1.5395	11	-	19,950	100.0	19,950	19,950	12,959	
12	R19	1.6010	12	-	19,950	100.0	19,950	19,950	12,461	
13	R20	1.6651	13	-	19,950	100.0	19,950	19,950	11,981	
14	R21	1.7317	14	-	19,950	100.0	19,950	19,950	11,520	
15	R22	1.8009	15	-	19,950	100.0	19,950	19,950	11,078	
16	R23	1.8730	16	-	19,950	100.0	19,950	19,950	10,651	
17	R24	1.9479	17	-	19,950	100.0	19,950	19,950	10,242	
18	R25	2.0258	18	-	19,950	100.0	19,950	19,950	9,848	
19	R26	2.1068	19	-	19,950	100.0	19,950	19,950	9,469	
20	R27	2.1911	20	-	19,950	100.0	19,950	19,950	9,105	
21	R28	2.2788	21	-	19,950	100.0	19,950	19,950	8,755	
22	R29	2.3699	22	-	19,950	100.0	19,950	19,950	8,418	
23	R30	2.4647	23	-	19,950	100.0	19,950	19,950	8,094	
24	R31	2.5633	24	-	19,950	100.0	19,950	19,950	7,783	
25	R32	2.6658	25	-	19,950	100.0	19,950	19,950	7,484	
26	R33	2.7725	26	-	19,950	100.0	19,950	19,950	7,196	
27	R34	2.8834	27	-	19,950	100.0	19,950	19,950	6,919	
28	R35	2.9987	28	-	19,950	100.0	19,950	19,950	6,653	
29	R36	3.1187	29	-	19,950	100.0	19,950	19,950	6,397	
30	R37	3.2434	30	-	19,950	100.0	19,950	19,950	6,151	
31	R38	3.3731	31	-	19,950	100.0	19,950	19,950	5,914	
32	R39	3.5081	32	-	19,950	100.0	19,950	19,950	5,687	
33	R40	3.6484	33	-	19,950	100.0	19,950	19,950	5,468	
34	R41	3.7943	34	-	19,950	100.0	19,950	19,950	5,258	
35	R42	3.9461	35	-	19,950	100.0	19,950	19,950	5,056	
36	R43	4.1039	36	-	19,950	100.0	19,950	19,950	4,861	
37	R44	4.2681	37	-	19,950	100.0	19,950	19,950	4,674	
38	R45	4.4388	38	-	19,950	100.0	19,950	19,950	4,494	
39	R46	4.6164	39	-	19,950	100.0	19,950	19,950	4,322	
40	R47	4.8010	40	-	19,950	100.0	19,950	19,950	4,155	
41	R48	4.9931	41	-	19,950	100.0	19,950	19,950	3,996	
42	R49	5.1928	42	-	19,950	100.0	19,950	19,950	3,842	
43	R50	5.4005	43	-	19,950	100.0	19,950	19,950	3,694	
44	R51	5.6165	44	-	19,950	100.0	19,950	19,950	3,552	
45	R52	5.8412	45	-	19,950	100.0	19,950	19,950	3,415	
46	R53	6.0748	46	-	19,950	100.0	19,950	19,950	3,284	
47	R54	6.3178	47	-	19,950	100.0	19,950	19,950	3,158	
48	R55	6.5705	48	-	19,950	100.0	19,950	19,950	3,036	
合計 (総便益額)									288,525	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果					備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果		計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	
1	R8	1.0400	1	1,701	5,682	0.0	0	1,701	1,636
2	R9	1.0816	2	1,701	5,682	6.4	364	2,065	1,909
3	R10	1.1249	3	1,701	5,682	19.5	1,108	2,809	2,497
4	R11	1.1699	4	1,701	5,682	32.6	1,852	3,553	3,037
5	R12	1.2167	5	1,701	5,682	45.7	2,597	4,298	3,533
6	R13	1.2653	6	1,701	5,682	58.8	3,341	5,042	3,985
7	R14	1.3159	7	1,701	5,682	71.9	4,085	5,786	4,397
8	R15	1.3686	8	1,701	5,682	85.0	4,830	6,531	4,772
9	R16	1.4233	9	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	5,187
10	R17	1.4802	10	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	4,988
11	R18	1.5395	11	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	4,796
12	R19	1.6010	12	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	4,611
13	R20	1.6651	13	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	4,434
14	R21	1.7317	14	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	4,263
15	R22	1.8009	15	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	4,100
16	R23	1.8730	16	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	3,942
17	R24	1.9479	17	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	3,790
18	R25	2.0258	18	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	3,644
19	R26	2.1068	19	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	3,504
20	R27	2.1911	20	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	3,370
21	R28	2.2788	21	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	3,240
22	R29	2.3699	22	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	3,115
23	R30	2.4647	23	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,995
24	R31	2.5633	24	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,880
25	R32	2.6658	25	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,770
26	R33	2.7725	26	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,663
27	R34	2.8834	27	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,561
28	R35	2.9987	28	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,462
29	R36	3.1187	29	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,367
30	R37	3.2434	30	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,276
31	R38	3.3731	31	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,189
32	R39	3.5081	32	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,105
33	R40	3.6484	33	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	2,024
34	R41	3.7943	34	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,946
35	R42	3.9461	35	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,871
36	R43	4.1039	36	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,799
37	R44	4.2681	37	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,730
38	R45	4.4388	38	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,663
39	R46	4.6164	39	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,599
40	R47	4.8010	40	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,538
41	R48	4.9931	41	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,479
42	R49	5.1928	42	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,422
43	R50	5.4005	43	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,367
44	R51	5.6165	44	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,315
45	R52	5.8412	45	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,264
46	R53	6.0748	46	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,215
47	R54	6.3178	47	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,169
48	R55	6.5705	48	1,701	5,682	100.0	5,682	7,383	1,124
合計 (総便益額)									132,543

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

## 2 年効果額の算定方法

### (1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、大麦、そば、キャベツ、ねぎ、大豆

○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額<sup>※1</sup>＋作付増減年効果額<sup>※2</sup>

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×単価×作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増 加 粗 収 益 額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥	
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②						
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円	
水稻	新設	13.4	35.6	13.4	単収増 (乾田化-1)	487	516	29	3.9	-	-	-	-	
					小 計					3.9	254	991	89	882
				22.2	作付増	-	-	516	114.6	-	-	-	-	-
	更新	13.4	13.4	13.4	単収増 (水管理改良)	205	487	282	37.8	-	-	-	-	
				13.4	単収増 (乾田化-2)	473	487	14	1.9	-	-	-	-	
					小 計	-	-	-	39.7	254	10,084	89	8,975	
				水稻計	-	-	-	158.2	-	40,183	-	9,857		
大麦	新設	0.3	9.2	8.9	作付増	-	-	279	24.8	-	-	-	-	
					小 計	-	-	-	24.8	53	1,314	9	118	
	更新	0.3	0.3	0.3	単収増 (田畑輪換)	243	279	36	0.1	-	-	-	-	
					小 計	-	-	-	0.1	53	5	90	5	
				大麦計	-	-	-	24.9	-	1,319	-	123		
そば	新設	0.1	7.9	7.8	作付増	-	-	47	3.7	-	-	-	-	
					小 計	-	-	-	3.7	268	992	-	-	
	更新	0.1	0.1	0.1	単収増 (田畑輪換)	41	47	6	0	-	-	-	-	
					小 計	-	-	-	0	268	0	-	-	
				そば計	-	-	-	3.7	-	992	-	-		
キャベツ	新設	0.1	0.3	0.2	作付増	2,567	-	2,567	5.1	-	-	-	-	
					小 計	-	-	-	5.1	70	357	16	57	
	更新	0.1	0.1	0.1	単収増 (湿潤かんがい)	2,272	2,567	295	0.3	-	-	-	-	
					小 計	-	-	-	0.3	70	21	91	19	
				0.1	単収増 (田畑輪換)	2,232	2,567	335	0.3	-	-	-	-	
				小 計	-	-	-	0.3	70	21	91	19		
				キャベツ計	-	-	-	5.7	-	399	-	95		
ねぎ	新設	0.1	0.3	0.2	作付増	-	-	1,533	3.1	-	-	-	-	
					小 計	-	-	-	3.1	342	1,060	16	170	
	更新	0.1	0.1	0.1	単収増 (湿潤かんがい)	1,357	1,533	176	0.2	-	-	-	-	
					小 計	-	-	-	0.2	342	68	91	62	
				0.1	単収増 (田畑輪換)	1,333	1,533	200	0.2	-	-	-	-	
				小 計	-	-	-	0.2	342	68	91	62		
				ねぎ計	-	-	-	3.5	-	1,196	-	294		

大豆	新設	-	0.7	0.7	作付増	-	-	97	0.7	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.7	166	116	-	-
					大豆計	-	-	-	0.7	-	116	-	-
水田計	新設	14.0	54.0								33,938		1,227
	更新	14.0	14.0								10,267		9,142
	新設										33,938		1,227
	更新										10,267		9,142
	合計										44,205		10,369

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり  
「現況作付面積」 ・小浜市の作付実績に基づき決定した。  
「計画作付面積」 ・新設整備では、県、小浜市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。  
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単収 :増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり  
「事業なかりせば単収」 ・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
・更新整備では、用排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。  
「事業ありせば単収」 ・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。  
・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
「効果算定対象単収」 ・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。  
(作付増においては、地域の計画単収である。)
- ・生産物単価 :農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純益率 :「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

## (2) 営農経費節減効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、大麦、そば、キャベツ、ねぎ

### ○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

### ○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果 発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻 (区画整理)	4,758,525	299,958	-	-	4,458,567	35.6	158,725
大麦 (区画整理)	3,963,969	607,421	-	-	3,356,548	9.2	30,880
そば (区画整理)	3,817,535	393,788	-	-	3,423,747	7.9	27,048
キャベツ (区画整理)	4,120,780	1,356,419	-	-	2,764,361	0.3	829
ねぎ (区画整理)	4,327,794	1,563,433	-	-	2,764,361	0.3	829
水稻 (利用集積)	5,342,786	1,115,309	-	-	4,227,477	29.8	125,979
大麦 (利用集積)	3,609,567	607,421	-	-	3,002,146	9.2	27,620
そば (利用集積)	3,432,161	393,788	-	-	3,038,373	7.9	24,003
キャベツ (利用集積)	3,910,485	1,356,419	-	-	2,554,066	0.3	766
ねぎ (利用集積)	4,117,499	1,563,433	-	-	2,554,066	0.3	766
水稻 (用排水改良)	-	-	4,649,900	4,758,525	△108,625	13.4	△1,456
大麦 (用排水改良)	-	-	3,962,669	3,963,969	△1,300	0.3	0
そば (用排水改良)	-	-	3,816,267	3,817,535	△1,268	0.1	0
キャベツ (用排水改良)	-	-	4,114,559	4,120,780	△6,221	0.1	△1
ねぎ (用排水改良)	-	-	4,274,047	4,327,794	△53,747	0.1	△5
新 設							397,445
更 新							△1,462
合 計							395,983

### ・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、福井県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、福井県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

### (3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

農道、排水路、用水路、頭首工

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		3,700	4,248	△ 548
更新整備		1,563	3,700	△ 2,137
合計				△ 2,685

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

#### (4) 景観・環境保全効果

○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により効果を算定した。

○対象施設

環境保全施設

○年効果額算定式

年効果額 = 一戸当たりの支払意思額 × 受益範囲世帯数 × { C1 / (C1 + C2) }

ただし、

C1 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C2 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

○年効果額の算定

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ②=③+④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤=①×(③/②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	排水路	19,950	72,250	72,250	-	19,950

## (5) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、大麦、そば、キャベツ、ねぎ、大豆

### ○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）  
 + 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

### ○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額（円/千円） ③	単位供給熱量 当たり効果額 （円/千kcal） ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	33,938	405,916	49	9.9	5,682
更新整備	10,267	121,014	49	9.9	1,701
合計	44,205	526,930			7,383

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額  
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

### 3 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局整備部長通知（最終改正：令和6年4月1日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け農林水産省農村振興局企画部長通知（令和6年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和6年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

#### 【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、福井県農林水産部農村振興課調べ

#### 【便益】

- ・ 北陸農政局統計部（令和5年～令和6年）「北陸農林水産統計年報」北陸農政局統計部
- ・ 農林水産省大臣官房統計部（平成27年8月）「平成27年基準農業物価統計」農林水産省
- ・ 令和2年国勢調査(<https://www.e-stat.go.jp>)
- ・ 農林水産省統計部（令和2年）「令和2年農林業センサス福井県統計書」農林水産統計協会
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、福井県農林水産部農村振興課調べ

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名: 愛知県)(地区名: 長瀬)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
5. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の( )には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名: 愛知県)(地区名: 長瀬)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ —	B
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,344	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	55.0	B
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	700 2	A
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	143.2	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	31.8	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	90.5	A
			担い手への面的集積率	%	98.3	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	141.7 42.0	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	2,631	A
農業の高付加価値化		①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話し合い	—	○ ○	A	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する関係市町村の同意状況 ②事業推進協議会から着工要望の提出 ③維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ④事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	83.3	A

## 長瀬地区の事業の効用に関する説明資料

### 1 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	2,338,815
当該事業による費用	②	1,662,112
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	676,703
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	50年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	2,813,241
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.20

#### (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	-	1,662,112	-	161,984	65,728	1,758,368
	計	-	1,662,112	-	161,984	65,728	1,758,368
そ の 他	頭首工	42,611	-	5,334	15,030	5,784	57,191
	ダム	35,788	-	-	88,957	13,092	111,653
	用水路	155,221	-	-	289,210	32,828	411,603
	計	233,620	-	5,334	393,197	51,704	580,447
合 計		233,620	1,662,112	5,334	555,181	117,432	2,338,815

### (3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	効果の要因
<b>食料の安定供給の確保に関する効果</b>			
作物生産効果		41,279	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		1,763	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の単価が維持、向上する効果
営農経費節減効果		89,924	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 705	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果		4,648	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での農業交通に係る走行経費が増減する効果
<b>農村の振興に関する効果</b>			
地籍確定効果		1,709	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査に要する経費が節減する効果
<b>多面的機能の発揮に関する効果</b>			
景観・環境保全効果		545	区画整理にあたり、周辺の景観や環境へ配慮した設計・構造を合わせもった施設として整備されることで発揮される効果
<b>その他の効果</b>			
水田貯留機能向上効果		10,672	田んぼダムの取り組みに必要な施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での当該地域や下流域の洪水被害が防止又は軽減される効果
国産農産物安定供給効果		8,359	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		158,194	

(4) 総便益額算出表－1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	35,926	5,353	0.0	0	35,926	34,544	
2	R9	1.0816	2	35,926	5,353	0.0	0	35,926	33,216	
3	R10	1.1249	3	35,926	5,353	11.1	594	36,520	32,465	
4	R11	1.1699	4	35,926	5,353	22.2	1,188	37,114	31,724	
5	R12	1.2167	5	35,926	5,353	33.3	1,783	37,709	30,993	
6	R13	1.2653	6	35,926	5,353	44.4	2,377	38,303	30,272	
7	R14	1.3159	7	35,926	5,353	55.5	2,971	38,897	29,559	
8	R15	1.3686	8	35,926	5,353	66.6	3,565	39,491	28,855	
9	R16	1.4233	9	35,926	5,353	77.7	4,159	40,085	28,163	
10	R17	1.4802	10	35,926	5,353	88.8	4,753	40,679	27,482	
11	R18	1.5395	11	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	26,813	
12	R19	1.6010	12	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	25,783	
13	R20	1.6651	13	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	24,791	
14	R21	1.7317	14	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	23,837	
15	R22	1.8009	15	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	22,921	
16	R23	1.8730	16	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	22,039	
17	R24	1.9479	17	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	21,192	
18	R25	2.0258	18	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	20,377	
19	R26	2.1068	19	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	19,593	
20	R27	2.1911	20	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	18,839	
21	R28	2.2788	21	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	18,114	
22	R29	2.3699	22	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	17,418	
23	R30	2.4647	23	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	16,748	
24	R31	2.5633	24	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	16,104	
25	R32	2.6658	25	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	15,485	
26	R33	2.7725	26	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	14,889	
27	R34	2.8834	27	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	14,316	
28	R35	2.9987	28	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	13,766	
29	R36	3.1187	29	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	13,236	
30	R37	3.2434	30	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	12,727	
31	R38	3.3731	31	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	12,238	
32	R39	3.5081	32	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	11,767	
33	R40	3.6484	33	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	11,314	
34	R41	3.7943	34	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	10,879	
35	R42	3.9461	35	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	10,461	
36	R43	4.1039	36	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	10,058	
37	R44	4.2681	37	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	9,672	
38	R45	4.4388	38	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	9,300	
39	R46	4.6164	39	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	8,942	
40	R47	4.8010	40	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	8,598	
41	R48	4.9931	41	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	8,267	
42	R49	5.1928	42	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	7,949	
43	R50	5.4005	43	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	7,644	
44	R51	5.6165	44	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	7,350	
45	R52	5.8412	45	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	7,067	
46	R53	6.0748	46	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	6,795	
47	R54	6.3178	47	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	6,534	
48	R55	6.5705	48	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	6,282	
49	R56	6.8333	49	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	6,041	
50	R57	7.1067	50	35,926	5,353	100.0	5,353	41,279	5,808	
合計 (総便益額)									859,227	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	品質向上効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	1,763	-	-	-	1,763	1,695	
2	R9	1.0816	2	1,763	-	-	-	1,763	1,630	
3	R10	1.1249	3	1,763	-	-	-	1,763	1,567	
4	R11	1.1699	4	1,763	-	-	-	1,763	1,507	
5	R12	1.2167	5	1,763	-	-	-	1,763	1,449	
6	R13	1.2653	6	1,763	-	-	-	1,763	1,393	
7	R14	1.3159	7	1,763	-	-	-	1,763	1,340	
8	R15	1.3686	8	1,763	-	-	-	1,763	1,288	
9	R16	1.4233	9	1,763	-	-	-	1,763	1,239	
10	R17	1.4802	10	1,763	-	-	-	1,763	1,191	
11	R18	1.5395	11	1,763	-	-	-	1,763	1,145	
12	R19	1.6010	12	1,763	-	-	-	1,763	1,101	
13	R20	1.6651	13	1,763	-	-	-	1,763	1,059	
14	R21	1.7317	14	1,763	-	-	-	1,763	1,018	
15	R22	1.8009	15	1,763	-	-	-	1,763	979	
16	R23	1.8730	16	1,763	-	-	-	1,763	941	
17	R24	1.9479	17	1,763	-	-	-	1,763	905	
18	R25	2.0258	18	1,763	-	-	-	1,763	870	
19	R26	2.1068	19	1,763	-	-	-	1,763	837	
20	R27	2.1911	20	1,763	-	-	-	1,763	805	
21	R28	2.2788	21	1,763	-	-	-	1,763	774	
22	R29	2.3699	22	1,763	-	-	-	1,763	744	
23	R30	2.4647	23	1,763	-	-	-	1,763	715	
24	R31	2.5633	24	1,763	-	-	-	1,763	688	
25	R32	2.6658	25	1,763	-	-	-	1,763	661	
26	R33	2.7725	26	1,763	-	-	-	1,763	636	
27	R34	2.8834	27	1,763	-	-	-	1,763	611	
28	R35	2.9987	28	1,763	-	-	-	1,763	588	
29	R36	3.1187	29	1,763	-	-	-	1,763	565	
30	R37	3.2434	30	1,763	-	-	-	1,763	544	
31	R38	3.3731	31	1,763	-	-	-	1,763	523	
32	R39	3.5081	32	1,763	-	-	-	1,763	503	
33	R40	3.6484	33	1,763	-	-	-	1,763	483	
34	R41	3.7943	34	1,763	-	-	-	1,763	465	
35	R42	3.9461	35	1,763	-	-	-	1,763	447	
36	R43	4.1039	36	1,763	-	-	-	1,763	430	
37	R44	4.2681	37	1,763	-	-	-	1,763	413	
38	R45	4.4388	38	1,763	-	-	-	1,763	397	
39	R46	4.6164	39	1,763	-	-	-	1,763	382	
40	R47	4.8010	40	1,763	-	-	-	1,763	367	
41	R48	4.9931	41	1,763	-	-	-	1,763	353	
42	R49	5.1928	42	1,763	-	-	-	1,763	340	
43	R50	5.4005	43	1,763	-	-	-	1,763	326	
44	R51	5.6165	44	1,763	-	-	-	1,763	314	
45	R52	5.8412	45	1,763	-	-	-	1,763	302	
46	R53	6.0748	46	1,763	-	-	-	1,763	290	
47	R54	6.3178	47	1,763	-	-	-	1,763	279	
48	R55	6.5705	48	1,763	-	-	-	1,763	268	
49	R56	6.8333	49	1,763	-	-	-	1,763	258	
50	R57	7.1067	50	1,763	-	-	-	1,763	248	
合計 (総便益額)									37,873	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 3,236	93,160	0.0	0	△ 3,236	△ 3,112	
2	R9	1.0816	2	△ 3,236	93,160	0.0	0	△ 3,236	△ 2,992	
3	R10	1.1249	3	△ 3,236	93,160	11.1	10,341	7,105	6,316	
4	R11	1.1699	4	△ 3,236	93,160	22.2	20,682	17,446	14,912	
5	R12	1.2167	5	△ 3,236	93,160	33.3	31,022	27,786	22,837	
6	R13	1.2653	6	△ 3,236	93,160	44.4	41,363	38,127	30,133	
7	R14	1.3159	7	△ 3,236	93,160	55.5	51,704	48,468	36,833	
8	R15	1.3686	8	△ 3,236	93,160	66.6	62,045	58,809	42,970	
9	R16	1.4233	9	△ 3,236	93,160	77.7	72,385	69,149	48,584	
10	R17	1.4802	10	△ 3,236	93,160	88.8	82,726	79,490	53,702	
11	R18	1.5395	11	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	58,411	
12	R19	1.6010	12	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	56,167	
13	R20	1.6651	13	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	54,005	
14	R21	1.7317	14	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	51,928	
15	R22	1.8009	15	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	49,933	
16	R23	1.8730	16	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	48,011	
17	R24	1.9479	17	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	46,165	
18	R25	2.0258	18	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	44,389	
19	R26	2.1068	19	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	42,683	
20	R27	2.1911	20	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	41,041	
21	R28	2.2788	21	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	39,461	
22	R29	2.3699	22	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	37,944	
23	R30	2.4647	23	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	36,485	
24	R31	2.5633	24	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	35,081	
25	R32	2.6658	25	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	33,732	
26	R33	2.7725	26	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	32,434	
27	R34	2.8834	27	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	31,187	
28	R35	2.9987	28	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	29,988	
29	R36	3.1187	29	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	28,834	
30	R37	3.2434	30	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	27,725	
31	R38	3.3731	31	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	26,659	
32	R39	3.5081	32	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	25,633	
33	R40	3.6484	33	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	24,648	
34	R41	3.7943	34	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	23,700	
35	R42	3.9461	35	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	22,788	
36	R43	4.1039	36	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	21,912	
37	R44	4.2681	37	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	21,069	
38	R45	4.4388	38	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	20,259	
39	R46	4.6164	39	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	19,479	
40	R47	4.8010	40	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	18,730	
41	R48	4.9931	41	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	18,010	
42	R49	5.1928	42	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	17,317	
43	R50	5.4005	43	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	16,651	
44	R51	5.6165	44	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	16,011	
45	R52	5.8412	45	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	15,395	
46	R53	6.0748	46	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	14,803	
47	R54	6.3178	47	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	14,233	
48	R55	6.5705	48	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	13,686	
49	R56	6.8333	49	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	13,160	
50	R57	7.1067	50	△ 3,236	93,160	100.0	93,160	89,924	12,653	
合計 (総便益額)									1,452,583	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 809	104	0.0	0	△ 809	△ 778	
2	R9	1.0816	2	△ 809	104	0.0	0	△ 809	△ 748	
3	R10	1.1249	3	△ 809	104	11.1	12	△ 797	△ 709	
4	R11	1.1699	4	△ 809	104	22.2	23	△ 786	△ 672	
5	R12	1.2167	5	△ 809	104	33.3	35	△ 774	△ 636	
6	R13	1.2653	6	△ 809	104	44.4	46	△ 763	△ 603	
7	R14	1.3159	7	△ 809	104	55.5	58	△ 751	△ 571	
8	R15	1.3686	8	△ 809	104	66.6	69	△ 740	△ 541	
9	R16	1.4233	9	△ 809	104	77.7	81	△ 728	△ 511	
10	R17	1.4802	10	△ 809	104	88.8	92	△ 717	△ 484	
11	R18	1.5395	11	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 458	
12	R19	1.6010	12	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 440	
13	R20	1.6651	13	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 423	
14	R21	1.7317	14	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 407	
15	R22	1.8009	15	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 391	
16	R23	1.8730	16	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 376	
17	R24	1.9479	17	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 362	
18	R25	2.0258	18	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 348	
19	R26	2.1068	19	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 335	
20	R27	2.1911	20	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 322	
21	R28	2.2788	21	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 309	
22	R29	2.3699	22	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 297	
23	R30	2.4647	23	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 286	
24	R31	2.5633	24	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 275	
25	R32	2.6658	25	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 264	
26	R33	2.7725	26	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 254	
27	R34	2.8834	27	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 245	
28	R35	2.9987	28	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 235	
29	R36	3.1187	29	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 226	
30	R37	3.2434	30	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 217	
31	R38	3.3731	31	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 209	
32	R39	3.5081	32	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 201	
33	R40	3.6484	33	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 193	
34	R41	3.7943	34	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 186	
35	R42	3.9461	35	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 179	
36	R43	4.1039	36	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 172	
37	R44	4.2681	37	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 165	
38	R45	4.4388	38	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 159	
39	R46	4.6164	39	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 153	
40	R47	4.8010	40	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 147	
41	R48	4.9931	41	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 141	
42	R49	5.1928	42	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 136	
43	R50	5.4005	43	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 131	
44	R51	5.6165	44	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 126	
45	R52	5.8412	45	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 121	
46	R53	6.0748	46	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 116	
47	R54	6.3178	47	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 112	
48	R55	6.5705	48	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 107	
49	R56	6.8333	49	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 103	
50	R57	7.1067	50	△ 809	104	100.0	104	△ 705	△ 99	
合計 (総便益額)									△ 15,679	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	営農に係る走行経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	4,017	631	0.0	0	4,017	3,863	
2	R9	1.0816	2	4,017	631	0.0	0	4,017	3,714	
3	R10	1.1249	3	4,017	631	11.1	70	4,087	3,633	
4	R11	1.1699	4	4,017	631	22.2	140	4,157	3,553	
5	R12	1.2167	5	4,017	631	33.3	210	4,227	3,474	
6	R13	1.2653	6	4,017	631	44.4	280	4,297	3,396	
7	R14	1.3159	7	4,017	631	55.5	350	4,367	3,319	
8	R15	1.3686	8	4,017	631	66.6	420	4,437	3,242	
9	R16	1.4233	9	4,017	631	77.7	490	4,507	3,167	
10	R17	1.4802	10	4,017	631	88.8	560	4,577	3,092	
11	R18	1.5395	11	4,017	631	100.0	631	4,648	3,019	
12	R19	1.6010	12	4,017	631	100.0	631	4,648	2,903	
13	R20	1.6651	13	4,017	631	100.0	631	4,648	2,791	
14	R21	1.7317	14	4,017	631	100.0	631	4,648	2,684	
15	R22	1.8009	15	4,017	631	100.0	631	4,648	2,581	
16	R23	1.8730	16	4,017	631	100.0	631	4,648	2,482	
17	R24	1.9479	17	4,017	631	100.0	631	4,648	2,386	
18	R25	2.0258	18	4,017	631	100.0	631	4,648	2,294	
19	R26	2.1068	19	4,017	631	100.0	631	4,648	2,206	
20	R27	2.1911	20	4,017	631	100.0	631	4,648	2,121	
21	R28	2.2788	21	4,017	631	100.0	631	4,648	2,040	
22	R29	2.3699	22	4,017	631	100.0	631	4,648	1,961	
23	R30	2.4647	23	4,017	631	100.0	631	4,648	1,886	
24	R31	2.5633	24	4,017	631	100.0	631	4,648	1,813	
25	R32	2.6658	25	4,017	631	100.0	631	4,648	1,744	
26	R33	2.7725	26	4,017	631	100.0	631	4,648	1,676	
27	R34	2.8834	27	4,017	631	100.0	631	4,648	1,612	
28	R35	2.9987	28	4,017	631	100.0	631	4,648	1,550	
29	R36	3.1187	29	4,017	631	100.0	631	4,648	1,490	
30	R37	3.2434	30	4,017	631	100.0	631	4,648	1,433	
31	R38	3.3731	31	4,017	631	100.0	631	4,648	1,378	
32	R39	3.5081	32	4,017	631	100.0	631	4,648	1,325	
33	R40	3.6484	33	4,017	631	100.0	631	4,648	1,274	
34	R41	3.7943	34	4,017	631	100.0	631	4,648	1,225	
35	R42	3.9461	35	4,017	631	100.0	631	4,648	1,178	
36	R43	4.1039	36	4,017	631	100.0	631	4,648	1,133	
37	R44	4.2681	37	4,017	631	100.0	631	4,648	1,089	
38	R45	4.4388	38	4,017	631	100.0	631	4,648	1,047	
39	R46	4.6164	39	4,017	631	100.0	631	4,648	1,007	
40	R47	4.8010	40	4,017	631	100.0	631	4,648	968	
41	R48	4.9931	41	4,017	631	100.0	631	4,648	931	
42	R49	5.1928	42	4,017	631	100.0	631	4,648	895	
43	R50	5.4005	43	4,017	631	100.0	631	4,648	861	
44	R51	5.6165	44	4,017	631	100.0	631	4,648	828	
45	R52	5.8412	45	4,017	631	100.0	631	4,648	796	
46	R53	6.0748	46	4,017	631	100.0	631	4,648	765	
47	R54	6.3178	47	4,017	631	100.0	631	4,648	736	
48	R55	6.5705	48	4,017	631	100.0	631	4,648	707	
49	R56	6.8333	49	4,017	631	100.0	631	4,648	680	
50	R57	7.1067	50	4,017	631	100.0	631	4,648	654	
合計(総便益額)									96,602	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-6

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	地籍確定効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	1,709	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	1,709	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	1,709	11.1	190	190	169	
4	R11	1.1699	4	-	1,709	22.2	379	379	324	
5	R12	1.2167	5	-	1,709	33.3	569	569	468	
6	R13	1.2653	6	-	1,709	44.4	759	759	600	
7	R14	1.3159	7	-	1,709	55.5	948	948	720	
8	R15	1.3686	8	-	1,709	66.6	1,138	1,138	832	
9	R16	1.4233	9	-	1,709	77.7	1,328	1,328	933	
10	R17	1.4802	10	-	1,709	88.8	1,518	1,518	1,026	
11	R18	1.5395	11	-	1,709	100.0	1,709	1,709	1,110	
12	R19	1.6010	12	-	1,709	100.0	1,709	1,709	1,067	
13	R20	1.6651	13	-	1,709	100.0	1,709	1,709	1,026	
14	R21	1.7317	14	-	1,709	100.0	1,709	1,709	987	
15	R22	1.8009	15	-	1,709	100.0	1,709	1,709	949	
16	R23	1.8730	16	-	1,709	100.0	1,709	1,709	912	
17	R24	1.9479	17	-	1,709	100.0	1,709	1,709	877	
18	R25	2.0258	18	-	1,709	100.0	1,709	1,709	844	
19	R26	2.1068	19	-	1,709	100.0	1,709	1,709	811	
20	R27	2.1911	20	-	1,709	100.0	1,709	1,709	780	
21	R28	2.2788	21	-	1,709	100.0	1,709	1,709	750	
22	R29	2.3699	22	-	1,709	100.0	1,709	1,709	721	
23	R30	2.4647	23	-	1,709	100.0	1,709	1,709	693	
24	R31	2.5633	24	-	1,709	100.0	1,709	1,709	667	
25	R32	2.6658	25	-	1,709	100.0	1,709	1,709	641	
26	R33	2.7725	26	-	1,709	100.0	1,709	1,709	616	
27	R34	2.8834	27	-	1,709	100.0	1,709	1,709	593	
28	R35	2.9987	28	-	1,709	100.0	1,709	1,709	570	
29	R36	3.1187	29	-	1,709	100.0	1,709	1,709	548	
30	R37	3.2434	30	-	1,709	100.0	1,709	1,709	527	
31	R38	3.3731	31	-	1,709	100.0	1,709	1,709	507	
32	R39	3.5081	32	-	1,709	100.0	1,709	1,709	487	
33	R40	3.6484	33	-	1,709	100.0	1,709	1,709	468	
34	R41	3.7943	34	-	1,709	100.0	1,709	1,709	450	
35	R42	3.9461	35	-	1,709	100.0	1,709	1,709	433	
36	R43	4.1039	36	-	1,709	100.0	1,709	1,709	416	
37	R44	4.2681	37	-	1,709	100.0	1,709	1,709	400	
38	R45	4.4388	38	-	1,709	100.0	1,709	1,709	385	
39	R46	4.6164	39	-	1,709	100.0	1,709	1,709	370	
40	R47	4.8010	40	-	1,709	100.0	1,709	1,709	356	
41	R48	4.9931	41	-	1,709	100.0	1,709	1,709	342	
42	R49	5.1928	42	-	1,709	100.0	1,709	1,709	329	
43	R50	5.4005	43	-	1,709	100.0	1,709	1,709	316	
44	R51	5.6165	44	-	1,709	100.0	1,709	1,709	304	
45	R52	5.8412	45	-	1,709	100.0	1,709	1,709	293	
46	R53	6.0748	46	-	1,709	100.0	1,709	1,709	281	
47	R54	6.3178	47	-	1,709	100.0	1,709	1,709	271	
48	R55	6.5705	48	-	1,709	100.0	1,709	1,709	260	
49	R56	6.8333	49	-	1,709	100.0	1,709	1,709	250	
50	R57	7.1067	50	-	1,709	100.0	1,709	1,709	240	
合計(総便益額)									27,919	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-7

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	景観・環境保全効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	545	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	545	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	545	11.1	60	60	53	
4	R11	1.1699	4	-	545	22.2	121	121	103	
5	R12	1.2167	5	-	545	33.3	181	181	149	
6	R13	1.2653	6	-	545	44.4	242	242	191	
7	R14	1.3159	7	-	545	55.5	302	302	230	
8	R15	1.3686	8	-	545	66.6	363	363	265	
9	R16	1.4233	9	-	545	77.7	423	423	297	
10	R17	1.4802	10	-	545	88.8	484	484	327	
11	R18	1.5395	11	-	545	100.0	545	545	354	
12	R19	1.6010	12	-	545	100.0	545	545	340	
13	R20	1.6651	13	-	545	100.0	545	545	327	
14	R21	1.7317	14	-	545	100.0	545	545	315	
15	R22	1.8009	15	-	545	100.0	545	545	303	
16	R23	1.8730	16	-	545	100.0	545	545	291	
17	R24	1.9479	17	-	545	100.0	545	545	280	
18	R25	2.0258	18	-	545	100.0	545	545	269	
19	R26	2.1068	19	-	545	100.0	545	545	259	
20	R27	2.1911	20	-	545	100.0	545	545	249	
21	R28	2.2788	21	-	545	100.0	545	545	239	
22	R29	2.3699	22	-	545	100.0	545	545	230	
23	R30	2.4647	23	-	545	100.0	545	545	221	
24	R31	2.5633	24	-	545	100.0	545	545	213	
25	R32	2.6658	25	-	545	100.0	545	545	204	
26	R33	2.7725	26	-	545	100.0	545	545	197	
27	R34	2.8834	27	-	545	100.0	545	545	189	
28	R35	2.9987	28	-	545	100.0	545	545	182	
29	R36	3.1187	29	-	545	100.0	545	545	175	
30	R37	3.2434	30	-	545	100.0	545	545	168	
31	R38	3.3731	31	-	545	100.0	545	545	162	
32	R39	3.5081	32	-	545	100.0	545	545	155	
33	R40	3.6484	33	-	545	100.0	545	545	149	
34	R41	3.7943	34	-	545	100.0	545	545	144	
35	R42	3.9461	35	-	545	100.0	545	545	138	
36	R43	4.1039	36	-	545	100.0	545	545	133	
37	R44	4.2681	37	-	545	100.0	545	545	128	
38	R45	4.4388	38	-	545	100.0	545	545	123	
39	R46	4.6164	39	-	545	100.0	545	545	118	
40	R47	4.8010	40	-	545	100.0	545	545	114	
41	R48	4.9931	41	-	545	100.0	545	545	109	
42	R49	5.1928	42	-	545	100.0	545	545	105	
43	R50	5.4005	43	-	545	100.0	545	545	101	
44	R51	5.6165	44	-	545	100.0	545	545	97	
45	R52	5.8412	45	-	545	100.0	545	545	93	
46	R53	6.0748	46	-	545	100.0	545	545	90	
47	R54	6.3178	47	-	545	100.0	545	545	86	
48	R55	6.5705	48	-	545	100.0	545	545	83	
49	R56	6.8333	49	-	545	100.0	545	545	80	
50	R57	7.1067	50	-	545	100.0	545	545	77	
合計(総便益額)									8,905	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表-8

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	水田貯留機能向上効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	10,672	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	10,672	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	10,672	11.1	1,185	1,185	1,053	
4	R11	1.1699	4	-	10,672	22.2	2,369	2,369	2,025	
5	R12	1.2167	5	-	10,672	33.3	3,554	3,554	2,921	
6	R13	1.2653	6	-	10,672	44.4	4,738	4,738	3,745	
7	R14	1.3159	7	-	10,672	55.5	5,923	5,923	4,501	
8	R15	1.3686	8	-	10,672	66.6	7,108	7,108	5,194	
9	R16	1.4233	9	-	10,672	77.7	8,292	8,292	5,826	
10	R17	1.4802	10	-	10,672	88.8	9,477	9,477	6,403	
11	R18	1.5395	11	-	10,672	100.0	10,672	10,672	6,932	
12	R19	1.6010	12	-	10,672	100.0	10,672	10,672	6,666	
13	R20	1.6651	13	-	10,672	100.0	10,672	10,672	6,409	
14	R21	1.7317	14	-	10,672	100.0	10,672	10,672	6,163	
15	R22	1.8009	15	-	10,672	100.0	10,672	10,672	5,926	
16	R23	1.8730	16	-	10,672	100.0	10,672	10,672	5,698	
17	R24	1.9479	17	-	10,672	100.0	10,672	10,672	5,479	
18	R25	2.0258	18	-	10,672	100.0	10,672	10,672	5,268	
19	R26	2.1068	19	-	10,672	100.0	10,672	10,672	5,066	
20	R27	2.1911	20	-	10,672	100.0	10,672	10,672	4,871	
21	R28	2.2788	21	-	10,672	100.0	10,672	10,672	4,683	
22	R29	2.3699	22	-	10,672	100.0	10,672	10,672	4,503	
23	R30	2.4647	23	-	10,672	100.0	10,672	10,672	4,330	
24	R31	2.5633	24	-	10,672	100.0	10,672	10,672	4,163	
25	R32	2.6658	25	-	10,672	100.0	10,672	10,672	4,003	
26	R33	2.7725	26	-	10,672	100.0	10,672	10,672	3,849	
27	R34	2.8834	27	-	10,672	100.0	10,672	10,672	3,701	
28	R35	2.9987	28	-	10,672	100.0	10,672	10,672	3,559	
29	R36	3.1187	29	-	10,672	100.0	10,672	10,672	3,422	
30	R37	3.2434	30	-	10,672	100.0	10,672	10,672	3,290	
31	R38	3.3731	31	-	10,672	100.0	10,672	10,672	3,164	
32	R39	3.5081	32	-	10,672	100.0	10,672	10,672	3,042	
33	R40	3.6484	33	-	10,672	100.0	10,672	10,672	2,925	
34	R41	3.7943	34	-	10,672	100.0	10,672	10,672	2,813	
35	R42	3.9461	35	-	10,672	100.0	10,672	10,672	2,704	
36	R43	4.1039	36	-	10,672	100.0	10,672	10,672	2,600	
37	R44	4.2681	37	-	10,672	100.0	10,672	10,672	2,500	
38	R45	4.4388	38	-	10,672	100.0	10,672	10,672	2,404	
39	R46	4.6164	39	-	10,672	100.0	10,672	10,672	2,312	
40	R47	4.8010	40	-	10,672	100.0	10,672	10,672	2,223	
41	R48	4.9931	41	-	10,672	100.0	10,672	10,672	2,137	
42	R49	5.1928	42	-	10,672	100.0	10,672	10,672	2,055	
43	R50	5.4005	43	-	10,672	100.0	10,672	10,672	1,976	
44	R51	5.6165	44	-	10,672	100.0	10,672	10,672	1,900	
45	R52	5.8412	45	-	10,672	100.0	10,672	10,672	1,827	
46	R53	6.0748	46	-	10,672	100.0	10,672	10,672	1,757	
47	R54	6.3178	47	-	10,672	100.0	10,672	10,672	1,689	
48	R55	6.5705	48	-	10,672	100.0	10,672	10,672	1,624	
49	R56	6.8333	49	-	10,672	100.0	10,672	10,672	1,562	
50	R57	7.1067	50	-	10,672	100.0	10,672	10,672	1,502	
合計(総便益額)									174,365	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－9

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同左 割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	6,780	1,579	0.0	0	6,780	6,519	
2	R9	1.0816	2	6,780	1,579	0.0	0	6,780	6,268	
3	R10	1.1249	3	6,780	1,579	11.1	175	6,955	6,183	
4	R11	1.1699	4	6,780	1,579	22.2	351	7,131	6,095	
5	R12	1.2167	5	6,780	1,579	33.3	526	7,306	6,005	
6	R13	1.2653	6	6,780	1,579	44.4	701	7,481	5,912	
7	R14	1.3159	7	6,780	1,579	55.5	876	7,656	5,818	
8	R15	1.3686	8	6,780	1,579	66.6	1,052	7,832	5,723	
9	R16	1.4233	9	6,780	1,579	77.7	1,227	8,007	5,626	
10	R17	1.4802	10	6,780	1,579	88.8	1,402	8,182	5,528	
11	R18	1.5395	11	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	5,430	
12	R19	1.6010	12	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	5,221	
13	R20	1.6651	13	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	5,020	
14	R21	1.7317	14	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	4,827	
15	R22	1.8009	15	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	4,642	
16	R23	1.8730	16	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	4,463	
17	R24	1.9479	17	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	4,291	
18	R25	2.0258	18	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	4,126	
19	R26	2.1068	19	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	3,968	
20	R27	2.1911	20	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	3,815	
21	R28	2.2788	21	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	3,668	
22	R29	2.3699	22	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	3,527	
23	R30	2.4647	23	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	3,391	
24	R31	2.5633	24	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	3,261	
25	R32	2.6658	25	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	3,136	
26	R33	2.7725	26	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	3,015	
27	R34	2.8834	27	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	2,899	
28	R35	2.9987	28	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	2,788	
29	R36	3.1187	29	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	2,680	
30	R37	3.2434	30	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	2,577	
31	R38	3.3731	31	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	2,478	
32	R39	3.5081	32	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	2,383	
33	R40	3.6484	33	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	2,291	
34	R41	3.7943	34	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	2,203	
35	R42	3.9461	35	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	2,118	
36	R43	4.1039	36	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	2,037	
37	R44	4.2681	37	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,958	
38	R45	4.4388	38	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,883	
39	R46	4.6164	39	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,811	
40	R47	4.8010	40	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,741	
41	R48	4.9931	41	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,674	
42	R49	5.1928	42	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,610	
43	R50	5.4005	43	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,548	
44	R51	5.6165	44	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,488	
45	R52	5.8412	45	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,431	
46	R53	6.0748	46	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,376	
47	R54	6.3178	47	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,323	
48	R55	6.5705	48	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,272	
49	R56	6.8333	49	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,223	
50	R57	7.1067	50	6,780	1,579	100.0	1,579	8,359	1,176	
合計(総便益額)									171,446	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

## 2 年効果額の算定方法

### (1) 作物生産効果

#### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

#### ○対象作物

水稻、小麦、大豆、かんしょ、さやえんどう、たまねぎ、さといも、すいか、冬春なす、いちご、レモン

#### ○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額<sup>※1</sup> + 作付増減年効果額<sup>※2</sup>

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

#### ○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増 加 粗 収 益 額 ⑤ = ③×④	純 益 率 ⑥	年 効 果 額 ⑦ = ⑤×⑥		
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②							
水稻	新設	ha 31.3	ha 30.5	0.6	単収増(乾田化)	kg/10a 514	kg/10a 545	kg/10a 31	t 0.2	千円/t 229	千円 46	% 89	千円 41		
					小 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				△0.8	作付減	-	-	514	△4.1	229	△939	-	-	-	-
		小 計	-	-	-	△4.1	-	△939	-	-	-	-	-		
	更新	ha 31.3	ha 31.3	31.3	単収増(水管理改良)	36	514	478	149.6	229	34,258	89	30,490		
					小 計	-	-	-	149.6	-	34,258	-	30,490	-	30,490
					水稻計	-	-	-	145.7	-	33,365	-	30,531		
小麦	新設	ha 24.0	ha 23.7	△0.3	作付減	-	-	463	△1.4	43	△60	-	-		
					小 計	-	-	-	△1.4	-	△60	-	-	-	-
	更新	ha 24.0	ha 24.0	24.0	単収増(乾田化)	423	463	40	9.6	43	413	84	347		
				24.0	単収増(田畑輪換)	403	463	60	14.4	43	619	84	520		
					小 計	-	-	-	24.0	-	1,032	-	867	-	867
						小麦計	-	-	-	24.0	-	1,032	-	867	
大豆	新設	ha 1.0	ha 23.7	22.7	作付増	-	-	111	25.2	135	3,402	-	-		
					小 計	-	-	-	25.2	-	3,402	-	-	-	-
	更新	ha 1.0	ha 1.0	1.0	単収増(乾田化)	65	111	46	0.5	135	68	88	60		
				1.0	単収増(田畑輪換)	97	111	14	0.1	135	14	88	12		
					小 計	-	-	-	0.6	-	82	-	72	-	72
					大豆計	-	-	-	25.8	-	3,484	-	72		
水田計	新設	ha 56.3	ha 78.2								千円 2,449		千円 41		
	更新	ha 56.3	ha 56.3								千円 35,372		千円 31,429		

かんしよ	更新	0.2	0.2	0.2	単収増 (乾畑化)	1,243	1,392	149	0.3	288	86	92	79
					小計	-	-	-	0.3	-	86	-	79
					かんしよ計	-	-	-	0.3	-	86	-	79
さやえんどう	更新	0.1	0.1	0.1	単収増 (乾畑化)	241	573	332	0.3	1,651	495	91	450
					小計	-	-	-	0.3	-	495	-	450
					さやえんどう計	-	-	-	0.3	-	495	-	450
たまねぎ	新設	0.4	0.5	0.1	作付増	-	-	5,237	5.2	141	733	16	117
					小計	-	-	-	5.2	-	733	-	117
	更新	0.4	0.4	0.4	単収増 (乾畑化)	4,761	5,237	476	1.9	141	268	91	244
					小計	-	-	-	1.9	-	268	-	244
				たまねぎ計	-	-	-	7.1	-	1,001	-	361	
さといも	更新	0.5	0.5	0.5	単収増 (乾畑化)	1,034	1,334	300	1.5	349	524	90	472
					小計	-	-	-	1.5	-	524	-	472
					さといも計	-	-	-	1.5	-	524	-	472
すいか	更新	0.1	0.1	0.1	単収増 (乾畑化)	2,269	2,323	54	0.1	244	24	91	22
					小計	-	-	-	0.1	-	24	-	22
					すいか計	-	-	-	0.1	-	24	-	22
冬春なす	更新	0.2	0.2	0.2	単収増 (乾畑化)	11,118	15,343	4,225	8.5	366	3,111	91	2,831
					小計	-	-	-	8.5	-	3,111	-	2,831
					冬春なす計	-	-	-	8.5	-	3,111	-	2,831
いちご	新設	-	0.5	0.5	作付増	-	-	4,168	20.8	1,442	29,994	17	5,099
					小計	-	-	-	20.8	-	29,994	-	5,099
					いちご計	-	-	-	20.8	-	29,994	-	5,099
普通畑計	新設	1.5	2.1								30,727		5,216
	更新	1.5	1.5								4,508		4,098
レモン	新設	0.7	0.8	0.1	作付増	-	-	1,165	1.2	365	438	22	96
					小計	-	-	-	1.2	-	438	-	96
	更新	0.7	0.7	0.7	単収増 (乾畑化)	994	1,165	171	1.2	365	438	91	399
					小計	-	-	-	1.2	-	438	-	399
				レモン計	-	-	-	2.4	-	876	-	495	
樹園地計	新設	0.7	0.8								438		96
	更新	0.7	0.7								438		399
新設											33,614		5,353
更新											40,318		35,926
合計											73,932		41,279

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり  
「現況作付面積」・関係市の作付実績に基づき決定した。  
「計画作付面積」・新設整備では、愛知県、岡崎市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。  
・更新整備では、現況施設のもとで作物生産量が維持される面積であり、現況＝計画とした。
- ・単 収 :増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり  
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
・更新整備では、用排水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。  
「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。  
・更新整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。  
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 :農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 :「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

## (2) 品質向上効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稲

### ○効果算定式

年効果額 = 効果対象数量 × 単価向上額

### ○年効果額の算定

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		機能維持 ①	機能向上 ②	事業なかりせば ③	現況 ④	事業ありせば ⑤	現況-事業なかりせば ⑥= ④-③	事業ありせば-現況 ⑦= ⑤-④	現況-事業なかりせば ⑧= ①×⑥	事業ありせば-現況 ⑨= ②×⑦	計 ⑩= ⑧+⑨
水稲	湿潤かんがい	t 11.3	t -	千円/t 73	千円/t 229	千円/t 229	千円/t 156	千円/t -	千円 1,763	千円 -	千円 1,763
新設										-	-
更新									1,763		1,763
合計											1,763

- ・効果対象数量 : 作物生産効果における作付面積、単収から算定された生産量
- ・生産物単価 : 「現況単価」は、農林水産統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。  
「事業なかりせば単価」は、「現況単価」に平成24年度矢作川総合第二期地区の試験データを用いて算出したかん水品質向上率を考慮し決定した。

### (3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、小麦、大豆

○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
	円	円	円	円	円	ha	千円
水稻 (区画整理)	1,305,747	535,948	-	-	769,799	30.5	23,479
水稻 (用水改良)	-	-	1,202,351	1,305,747	△103,396	31.3	△3,236
小麦 (区画整理)	720,756	385,947	-	-	334,809	23.7	7,935
大豆 (区画整理)	2,830,066	224,755	-	-	2,605,311	23.7	61,746
新 設							93,160
更 新							△3,236
合 計							89,924

・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、愛知県の農業経営指標等に基づき算定した。
- ・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、愛知県の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。
- ・事業なかりせば営農経費 : 地域の水利施設の機能が失われた場合に想定される水管理作業に係る経費を考慮し算定した。

#### (4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

頭首工、ダム、用水路、排水路、農道

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		4,926	4,822	104
更新整備		4,117	4,926	△ 809
合 計				△ 705

- ・事業なかりせば維持管理費                   ： 現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費                   ： 現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。
- ・現況維持管理費                            ： 現況施設の維持管理費に基づき算定した。

## (5) 営農に係る走行経費節減効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の農業交通に係る走行経費の増減をもって年効果額を算定した。

### ○対象施設 支線農道

### ○効果算定式

年効果額 = 事業なかりせば走行経費 - 事業ありせば走行経費

### ○年効果額の算定

区分	新設	現況走行経費①	事業ありせば走行経費②	年効果額 ③=①-②
	更新	事業なかりせば走行経費①	現況走行経費②	
		千円	千円	千円
新設整備		2,913	2,282	631
更新整備		6,930	2,913	4,017
合計				4,648

- ・ 事業なかりせば走行経費 : 整備した道路の機能が喪失した状態において想定される農業交通に係る走行経費を算定した。
- ・ 事業ありせば走行経費 : 道路の整備後における農業交通に係る走行経費を算定した。
- ・ 現況走行経費 : 現況の農業交通に係る走行経費を基に算定した。

## (6) 地籍確定効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、土地を国土調査する場合に要する経費の差をもって年効果額を算定した。

### ○対象

区画整理実施地区のうち国土調査未実施地域

### ○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば国土調査経費 - 事業ありせば国土調査経費) × 還元率

### ○年効果額の算定

区 分	事業なかりせば 国土調査費 ①	事業ありせば 国土調査費 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (① - ②) × ③
新設整備	千円 41,889	千円 -	0.0408	千円 1,709

- ・事業なかりせば国土調査経費 : 現況国土調査費（近傍地区における国土調査費）
- ・事業ありせば国土調査経費 : 計画国土調査費（国土調査法第19条第5項の申請に要する費用相当額）
- ・還元率 : 施設等有している総効果額を耐用年数期間（基本的に100年とする）に換算するための係数

## (7) 景観・環境保全効果

### ○効果の考え方

景観や自然環境が保全、創設される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、地域住民等にWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により効果を算定した。

### ○対象施設

環境保全施設

### ○年効果額算定式

年効果額 = 一戸当たりの支払意思額<sup>※</sup> × 受益範囲世帯数 × {C1 / (C1 + C2)}  
ただし、

C1 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうち当該土地改良事業分

C2 : 景観・環境保全施設の資本還元額のうちその他事業分

※過去の国営地区における算定結果を基にした計算式によりWTPを推計

### ○年効果額の算定

区分	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境保全施設の資本還元額 ②=③+④	当該土地改良事業の資本還元額 ③	その他の事業の資本還元額 ④	当該土地改良事業における効果額 ⑤=①×(③/②)
		千円	千円	千円	千円	千円
新設整備	排水路	545	626	626	-	545

## (8) その他の効果 (水田貯留機能向上効果)

### ○効果の考え方

事業を実施した場合 (事業ありせば) と実施しなかった場合 (事業なかりせば) を比較し、水田貯留機能の向上に向けた取組に必要な施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での当該地域や下流域の洪水被害が防止又は軽減される年効果額を算定した。

### ○対象施設 排水柵

### ○効果算定式

年効果額 = ピークカット流出量 × 排水量当たり単価 × 還元率

### ○年効果額の算定

区分	ピークカット 流出量 ①	排水量当たり 単価 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = ① × ② × ③
	m <sup>3</sup> /s	千円/m <sup>3</sup> /s		千円
新設整備	0.69	210,153	0.0736	10,672
更新整備	-	-	-	-
合計				10,672

- ・ ピークカット流出量 : 事業なかりせば最大流出量 - 事業ありせば最大流出量
- ・ 排水量当たり単価 : 近傍排水施設の事業費と排水量により算定
- ・ 還元率 : 施設が有している総効果額を耐用年数期間における年効果額に換算するための係数

## (9) その他の効果（国産農産物安定供給効果）

### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、小麦、大豆、かんしょ、さやえんどう、たまねぎ、さといも、すいか、冬春なす、いちご、レモン

### ○効果算定式

年効果額＝年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額（原単位）  
 ＋ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額（原単位）

### ○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産 額当たり効果 額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤＝①×③ ＋②×④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	33,614	△ 6,864	49	9.9	1,579
更新整備	40,318	485,247	49	9.9	6,780
合計	73,932	478,383			8,359

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額  
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額（原単位）は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額（原単位）は9.9円/千kcalとした

### 3 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

#### 【費用】

- ・ 当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、愛知県農地部農地計画課調べ

#### 【便益】

- ・ 東海農政局統計部（令和2～6年）「第67～71次東海農林水産統計年報」農林水産統計協会
- ・ 農林水産省大臣官房統計部（令和2～6年）「令和2～6年農業物価統計」農林水産省
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、愛知県農地部農地計画課調べ

## 令和8年度新規地区採択チェックリスト

### (8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名: 山口県)(地区名: 上右田南)

#### 1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。(必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。(効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
5. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の( )には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(8-5) 農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)

(都道府県名: 山口県)(地区名: 上右田南)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	4,137	A
			スマート農業技術等の導入	—	○	A
			大区画化ほ場の割合	%	58.8	B
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円/60kg 割	2,011 3	A
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	801.3	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	566.7	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	100.0	A
			担い手への面的集積率	%	95.8	A
		農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	141.9 68.3	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額(受益面積当たり)	千円/ha・年	1,053	B
農業の高付加価値化		①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	—	○ ○	A	
多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	○	A	
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	○	A	
	生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A	

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	B	B
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②高生産性優良農業地域対策に基づく広域農業農村整備促進計画との整合性 ③地域計画と本事業との整合性 ④地域における開発計画と本事業との整合性 ⑤関係計画における関連事業等への位置付け	—	a — a a —	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)の状況 ②その他着工前に重要な協議(予備)の状況	—	a a	A
	地元合意		①事業実施に対する関係市町村の同意状況 ②事業推進協議会から着工要望の提出 ③維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ④事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	— ○	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	77.8	B

## 上右田南地区の事業の効用に関する説明資料

### 1 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,307,784
当該事業による費用	②	1,035,248
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	272,536
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	47年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	1,663,226
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.27

#### (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	区画整理	-	1,035,248	-	358,416	85,880	1,307,784
	計	-	1,035,248	-	358,416	85,880	1,307,784
	合 計	-	1,035,248	-	358,416	85,880	1,307,784

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	効果の要因
<b>食料の安定供給の確保に関する効果</b>			
作物生産効果		3,335	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		89,025	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 2,994	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
<b>農業の持続的発展に関する効果</b>			
耕作放棄防止効果		5	区画整理を実施したことにより、耕作放棄の発生が防止され、農産物の生産が維持される効果
農業労働環境改善効果		2,683	区画整理を実施したことにより、営農に係る労働が質的（労働強度の改善、精神的疲労の改善）に改善される効果
<b>その他の効果</b>			
国産農産物安定供給効果		3,263	区画整理の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		95,317	

(4) 総便益額算出表－1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	3,335	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	3,335	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	3,335	18.1	604	604	537	
4	R11	1.1699	4	-	3,335	39.8	1,327	1,327	1,134	
5	R12	1.2167	5	-	3,335	66.2	2,208	2,208	1,815	
6	R13	1.2653	6	-	3,335	100.0	3,335	3,335	2,636	
7	R14	1.3159	7	-	3,335	100.0	3,335	3,335	2,534	
8	R15	1.3686	8	-	3,335	100.0	3,335	3,335	2,437	
9	R16	1.4233	9	-	3,335	100.0	3,335	3,335	2,343	
10	R17	1.4802	10	-	3,335	100.0	3,335	3,335	2,253	
11	R18	1.5395	11	-	3,335	100.0	3,335	3,335	2,166	
12	R19	1.6010	12	-	3,335	100.0	3,335	3,335	2,083	
13	R20	1.6651	13	-	3,335	100.0	3,335	3,335	2,003	
14	R21	1.7317	14	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,926	
15	R22	1.8009	15	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,852	
16	R23	1.8730	16	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,781	
17	R24	1.9479	17	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,712	
18	R25	2.0258	18	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,646	
19	R26	2.1068	19	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,583	
20	R27	2.1911	20	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,522	
21	R28	2.2788	21	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,463	
22	R29	2.3699	22	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,407	
23	R30	2.4647	23	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,353	
24	R31	2.5633	24	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,301	
25	R32	2.6658	25	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,251	
26	R33	2.7725	26	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,203	
27	R34	2.8834	27	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,157	
28	R35	2.9987	28	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,112	
29	R36	3.1187	29	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,069	
30	R37	3.2434	30	-	3,335	100.0	3,335	3,335	1,028	
31	R38	3.3731	31	-	3,335	100.0	3,335	3,335	989	
32	R39	3.5081	32	-	3,335	100.0	3,335	3,335	951	
33	R40	3.6484	33	-	3,335	100.0	3,335	3,335	914	
34	R41	3.7943	34	-	3,335	100.0	3,335	3,335	879	
35	R42	3.9461	35	-	3,335	100.0	3,335	3,335	845	
36	R43	4.1039	36	-	3,335	100.0	3,335	3,335	813	
37	R44	4.2681	37	-	3,335	100.0	3,335	3,335	781	
38	R45	4.4388	38	-	3,335	100.0	3,335	3,335	751	
39	R46	4.6164	39	-	3,335	100.0	3,335	3,335	722	
40	R47	4.8010	40	-	3,335	100.0	3,335	3,335	695	
41	R48	4.9931	41	-	3,335	100.0	3,335	3,335	668	
42	R49	5.1928	42	-	3,335	100.0	3,335	3,335	642	
43	R50	5.4005	43	-	3,335	100.0	3,335	3,335	618	
44	R51	5.6165	44	-	3,335	100.0	3,335	3,335	594	
45	R52	5.8412	45	-	3,335	100.0	3,335	3,335	571	
46	R53	6.0748	46	-	3,335	100.0	3,335	3,335	549	
47	R54	6.3178	47	-	3,335	100.0	3,335	3,335	528	
合計 (総便益額)									58,817	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	89,025	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	89,025	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	89,025	18.1	16,114	16,114	14,325	
4	R11	1.1699	4	-	89,025	39.8	35,432	35,432	30,286	
5	R12	1.2167	5	-	89,025	66.2	58,935	58,935	48,438	
6	R13	1.2653	6	-	89,025	100.0	89,025	89,025	70,359	
7	R14	1.3159	7	-	89,025	100.0	89,025	89,025	67,653	
8	R15	1.3686	8	-	89,025	100.0	89,025	89,025	65,048	
9	R16	1.4233	9	-	89,025	100.0	89,025	89,025	62,548	
10	R17	1.4802	10	-	89,025	100.0	89,025	89,025	60,144	
11	R18	1.5395	11	-	89,025	100.0	89,025	89,025	57,827	
12	R19	1.6010	12	-	89,025	100.0	89,025	89,025	55,606	
13	R20	1.6651	13	-	89,025	100.0	89,025	89,025	53,465	
14	R21	1.7317	14	-	89,025	100.0	89,025	89,025	51,409	
15	R22	1.8009	15	-	89,025	100.0	89,025	89,025	49,434	
16	R23	1.8730	16	-	89,025	100.0	89,025	89,025	47,531	
17	R24	1.9479	17	-	89,025	100.0	89,025	89,025	45,703	
18	R25	2.0258	18	-	89,025	100.0	89,025	89,025	43,946	
19	R26	2.1068	19	-	89,025	100.0	89,025	89,025	42,256	
20	R27	2.1911	20	-	89,025	100.0	89,025	89,025	40,630	
21	R28	2.2788	21	-	89,025	100.0	89,025	89,025	39,067	
22	R29	2.3699	22	-	89,025	100.0	89,025	89,025	37,565	
23	R30	2.4647	23	-	89,025	100.0	89,025	89,025	36,120	
24	R31	2.5633	24	-	89,025	100.0	89,025	89,025	34,731	
25	R32	2.6658	25	-	89,025	100.0	89,025	89,025	33,395	
26	R33	2.7725	26	-	89,025	100.0	89,025	89,025	32,110	
27	R34	2.8834	27	-	89,025	100.0	89,025	89,025	30,875	
28	R35	2.9987	28	-	89,025	100.0	89,025	89,025	29,688	
29	R36	3.1187	29	-	89,025	100.0	89,025	89,025	28,546	
30	R37	3.2434	30	-	89,025	100.0	89,025	89,025	27,448	
31	R38	3.3731	31	-	89,025	100.0	89,025	89,025	26,393	
32	R39	3.5081	32	-	89,025	100.0	89,025	89,025	25,377	
33	R40	3.6484	33	-	89,025	100.0	89,025	89,025	24,401	
34	R41	3.7943	34	-	89,025	100.0	89,025	89,025	23,463	
35	R42	3.9461	35	-	89,025	100.0	89,025	89,025	22,560	
36	R43	4.1039	36	-	89,025	100.0	89,025	89,025	21,693	
37	R44	4.2681	37	-	89,025	100.0	89,025	89,025	20,858	
38	R45	4.4388	38	-	89,025	100.0	89,025	89,025	20,056	
39	R46	4.6164	39	-	89,025	100.0	89,025	89,025	19,285	
40	R47	4.8010	40	-	89,025	100.0	89,025	89,025	18,543	
41	R48	4.9931	41	-	89,025	100.0	89,025	89,025	17,830	
42	R49	5.1928	42	-	89,025	100.0	89,025	89,025	17,144	
43	R50	5.4005	43	-	89,025	100.0	89,025	89,025	16,485	
44	R51	5.6165	44	-	89,025	100.0	89,025	89,025	15,851	
45	R52	5.8412	45	-	89,025	100.0	89,025	89,025	15,241	
46	R53	6.0748	46	-	89,025	100.0	89,025	89,025	14,655	
47	R54	6.3178	47	-	89,025	100.0	89,025	89,025	14,091	
合計 (総便益額)									1,570,079	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－3

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 5,230	2,236	0.0	0	△ 5,230	△ 5,029	
2	R9	1.0816	2	△ 5,230	2,236	0.0	0	△ 5,230	△ 4,835	
3	R10	1.1249	3	△ 5,230	2,236	18.1	405	△ 4,825	△ 4,289	
4	R11	1.1699	4	△ 5,230	2,236	39.8	890	△ 4,340	△ 3,710	
5	R12	1.2167	5	△ 5,230	2,236	66.2	1,480	△ 3,750	△ 3,082	
6	R13	1.2653	6	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 2,366	
7	R14	1.3159	7	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 2,275	
8	R15	1.3686	8	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 2,188	
9	R16	1.4233	9	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 2,104	
10	R17	1.4802	10	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 2,023	
11	R18	1.5395	11	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,945	
12	R19	1.6010	12	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,870	
13	R20	1.6651	13	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,798	
14	R21	1.7317	14	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,729	
15	R22	1.8009	15	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,663	
16	R23	1.8730	16	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,599	
17	R24	1.9479	17	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,537	
18	R25	2.0258	18	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,478	
19	R26	2.1068	19	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,421	
20	R27	2.1911	20	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,366	
21	R28	2.2788	21	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,314	
22	R29	2.3699	22	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,263	
23	R30	2.4647	23	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,215	
24	R31	2.5633	24	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,168	
25	R32	2.6658	25	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,123	
26	R33	2.7725	26	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,080	
27	R34	2.8834	27	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 1,038	
28	R35	2.9987	28	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 998	
29	R36	3.1187	29	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 960	
30	R37	3.2434	30	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 923	
31	R38	3.3731	31	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 888	
32	R39	3.5081	32	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 853	
33	R40	3.6484	33	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 821	
34	R41	3.7943	34	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 789	
35	R42	3.9461	35	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 759	
36	R43	4.1039	36	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 730	
37	R44	4.2681	37	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 701	
38	R45	4.4388	38	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 675	
39	R46	4.6164	39	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 649	
40	R47	4.8010	40	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 624	
41	R48	4.9931	41	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 600	
42	R49	5.1928	42	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 577	
43	R50	5.4005	43	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 554	
44	R51	5.6165	44	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 533	
45	R52	5.8412	45	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 513	
46	R53	6.0748	46	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 493	
47	R54	6.3178	47	△ 5,230	2,236	100.0	2,236	△ 2,994	△ 474	
合計 (総便益額)									△ 70,622	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	耕作放棄防止効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	5	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	5	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	5	18.1	1	1	1	
4	R11	1.1699	4	-	5	39.8	2	2	2	
5	R12	1.2167	5	-	5	66.2	3	3	2	
6	R13	1.2653	6	-	5	100.0	5	5	4	
7	R14	1.3159	7	-	5	100.0	5	5	4	
8	R15	1.3686	8	-	5	100.0	5	5	4	
9	R16	1.4233	9	-	5	100.0	5	5	4	
10	R17	1.4802	10	-	5	100.0	5	5	3	
11	R18	1.5395	11	-	5	100.0	5	5	3	
12	R19	1.6010	12	-	5	100.0	5	5	3	
13	R20	1.6651	13	-	5	100.0	5	5	3	
14	R21	1.7317	14	-	5	100.0	5	5	3	
15	R22	1.8009	15	-	5	100.0	5	5	3	
16	R23	1.8730	16	-	5	100.0	5	5	3	
17	R24	1.9479	17	-	5	100.0	5	5	3	
18	R25	2.0258	18	-	5	100.0	5	5	2	
19	R26	2.1068	19	-	5	100.0	5	5	2	
20	R27	2.1911	20	-	5	100.0	5	5	2	
21	R28	2.2788	21	-	5	100.0	5	5	2	
22	R29	2.3699	22	-	5	100.0	5	5	2	
23	R30	2.4647	23	-	5	100.0	5	5	2	
24	R31	2.5633	24	-	5	100.0	5	5	2	
25	R32	2.6658	25	-	5	100.0	5	5	2	
26	R33	2.7725	26	-	5	100.0	5	5	2	
27	R34	2.8834	27	-	5	100.0	5	5	2	
28	R35	2.9987	28	-	5	100.0	5	5	2	
29	R36	3.1187	29	-	5	100.0	5	5	2	
30	R37	3.2434	30	-	5	100.0	5	5	2	
31	R38	3.3731	31	-	5	100.0	5	5	1	
32	R39	3.5081	32	-	5	100.0	5	5	1	
33	R40	3.6484	33	-	5	100.0	5	5	1	
34	R41	3.7943	34	-	5	100.0	5	5	1	
35	R42	3.9461	35	-	5	100.0	5	5	1	
36	R43	4.1039	36	-	5	100.0	5	5	1	
37	R44	4.2681	37	-	5	100.0	5	5	1	
38	R45	4.4388	38	-	5	100.0	5	5	1	
39	R46	4.6164	39	-	5	100.0	5	5	1	
40	R47	4.8010	40	-	5	100.0	5	5	1	
41	R48	4.9931	41	-	5	100.0	5	5	1	
42	R49	5.1928	42	-	5	100.0	5	5	1	
43	R50	5.4005	43	-	5	100.0	5	5	1	
44	R51	5.6165	44	-	5	100.0	5	5	1	
45	R52	5.8412	45	-	5	100.0	5	5	1	
46	R53	6.0748	46	-	5	100.0	5	5	1	
47	R54	6.3178	47	-	5	100.0	5	5	1	
合計 (総便益額)									88	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	農業労働環境改善効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	2,683	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	2,683	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	2,683	18.1	486	486	432	
4	R11	1.1699	4	-	2,683	39.8	1,068	1,068	913	
5	R12	1.2167	5	-	2,683	66.2	1,776	1,776	1,460	
6	R13	1.2653	6	-	2,683	100.0	2,683	2,683	2,120	
7	R14	1.3159	7	-	2,683	100.0	2,683	2,683	2,039	
8	R15	1.3686	8	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,960	
9	R16	1.4233	9	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,885	
10	R17	1.4802	10	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,813	
11	R18	1.5395	11	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,743	
12	R19	1.6010	12	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,676	
13	R20	1.6651	13	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,611	
14	R21	1.7317	14	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,549	
15	R22	1.8009	15	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,490	
16	R23	1.8730	16	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,432	
17	R24	1.9479	17	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,377	
18	R25	2.0258	18	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,324	
19	R26	2.1068	19	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,273	
20	R27	2.1911	20	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,224	
21	R28	2.2788	21	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,177	
22	R29	2.3699	22	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,132	
23	R30	2.4647	23	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,089	
24	R31	2.5633	24	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,047	
25	R32	2.6658	25	-	2,683	100.0	2,683	2,683	1,006	
26	R33	2.7725	26	-	2,683	100.0	2,683	2,683	968	
27	R34	2.8834	27	-	2,683	100.0	2,683	2,683	930	
28	R35	2.9987	28	-	2,683	100.0	2,683	2,683	895	
29	R36	3.1187	29	-	2,683	100.0	2,683	2,683	860	
30	R37	3.2434	30	-	2,683	100.0	2,683	2,683	827	
31	R38	3.3731	31	-	2,683	100.0	2,683	2,683	795	
32	R39	3.5081	32	-	2,683	100.0	2,683	2,683	765	
33	R40	3.6484	33	-	2,683	100.0	2,683	2,683	735	
34	R41	3.7943	34	-	2,683	100.0	2,683	2,683	707	
35	R42	3.9461	35	-	2,683	100.0	2,683	2,683	680	
36	R43	4.1039	36	-	2,683	100.0	2,683	2,683	654	
37	R44	4.2681	37	-	2,683	100.0	2,683	2,683	629	
38	R45	4.4388	38	-	2,683	100.0	2,683	2,683	604	
39	R46	4.6164	39	-	2,683	100.0	2,683	2,683	581	
40	R47	4.8010	40	-	2,683	100.0	2,683	2,683	559	
41	R48	4.9931	41	-	2,683	100.0	2,683	2,683	537	
42	R49	5.1928	42	-	2,683	100.0	2,683	2,683	517	
43	R50	5.4005	43	-	2,683	100.0	2,683	2,683	497	
44	R51	5.6165	44	-	2,683	100.0	2,683	2,683	478	
45	R52	5.8412	45	-	2,683	100.0	2,683	2,683	459	
46	R53	6.0748	46	-	2,683	100.0	2,683	2,683	442	
47	R54	6.3178	47	-	2,683	100.0	2,683	2,683	425	
合計 (総便益額)									47,316	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－6

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ①	経過年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	3,263	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	3,263	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	3,263	18.1	591	591	525	
4	R11	1.1699	4	-	3,263	39.8	1,299	1,299	1,110	
5	R12	1.2167	5	-	3,263	66.2	2,160	2,160	1,775	
6	R13	1.2653	6	-	3,263	100.0	3,263	3,263	2,579	
7	R14	1.3159	7	-	3,263	100.0	3,263	3,263	2,480	
8	R15	1.3686	8	-	3,263	100.0	3,263	3,263	2,384	
9	R16	1.4233	9	-	3,263	100.0	3,263	3,263	2,293	
10	R17	1.4802	10	-	3,263	100.0	3,263	3,263	2,204	
11	R18	1.5395	11	-	3,263	100.0	3,263	3,263	2,120	
12	R19	1.6010	12	-	3,263	100.0	3,263	3,263	2,038	
13	R20	1.6651	13	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,960	
14	R21	1.7317	14	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,884	
15	R22	1.8009	15	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,812	
16	R23	1.8730	16	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,742	
17	R24	1.9479	17	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,675	
18	R25	2.0258	18	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,611	
19	R26	2.1068	19	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,549	
20	R27	2.1911	20	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,489	
21	R28	2.2788	21	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,432	
22	R29	2.3699	22	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,377	
23	R30	2.4647	23	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,324	
24	R31	2.5633	24	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,273	
25	R32	2.6658	25	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,224	
26	R33	2.7725	26	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,177	
27	R34	2.8834	27	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,132	
28	R35	2.9987	28	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,088	
29	R36	3.1187	29	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,046	
30	R37	3.2434	30	-	3,263	100.0	3,263	3,263	1,006	
31	R38	3.3731	31	-	3,263	100.0	3,263	3,263	967	
32	R39	3.5081	32	-	3,263	100.0	3,263	3,263	930	
33	R40	3.6484	33	-	3,263	100.0	3,263	3,263	894	
34	R41	3.7943	34	-	3,263	100.0	3,263	3,263	860	
35	R42	3.9461	35	-	3,263	100.0	3,263	3,263	827	
36	R43	4.1039	36	-	3,263	100.0	3,263	3,263	795	
37	R44	4.2681	37	-	3,263	100.0	3,263	3,263	765	
38	R45	4.4388	38	-	3,263	100.0	3,263	3,263	735	
39	R46	4.6164	39	-	3,263	100.0	3,263	3,263	707	
40	R47	4.8010	40	-	3,263	100.0	3,263	3,263	680	
41	R48	4.9931	41	-	3,263	100.0	3,263	3,263	654	
42	R49	5.1928	42	-	3,263	100.0	3,263	3,263	628	
43	R50	5.4005	43	-	3,263	100.0	3,263	3,263	604	
44	R51	5.6165	44	-	3,263	100.0	3,263	3,263	581	
45	R52	5.8412	45	-	3,263	100.0	3,263	3,263	559	
46	R53	6.0748	46	-	3,263	100.0	3,263	3,263	537	
47	R54	6.3178	47	-	3,263	100.0	3,263	3,263	516	
合計（総便益額）									57,548	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

## 2 年効果額の算定方法

### (1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

水稻、飼料用米、かんしょ、小麦、たまねぎ

○年効果額算定式

年効果額 = 単収増加年効果額<sup>※1</sup> + 作付増減年効果額<sup>※2</sup>

※1 単収増加年効果額 = 作付面積 × (事業ありせば単収 - 事業なかりせば単収) × 単価 × 単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額 = (事業ありせば作付面積 - 事業なかりせば作付面積) × 単収 × 単価 × 作付増減の純益率

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③ = ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤ = ③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
水稻	新設	13.7	15.3	10.5	単収増(乾田化)	505	520	15	1.6	-	-	-	-
				13.7	単収増(水管理改良)	505	515	10	1.4	-	-	-	-
				13.7	単収増(ICT導入)	505	561	56	7.7	-	-	-	-
					小計	-	-	-	10.7	225	2,408	89	2,143
				1.6	作付増	-	-	586	9.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	9.4	225	2,115	-	-
					水稻計	-	-	-	20.1	-	4,523	-	2,143
飼料用米	新設	2.7	4.0	2.7	単収増(乾田化)	554	571	17	0.5	-	-	-	-
				2.7	単収増(水管理改良)	554	565	11	0.3	-	-	-	-
				2.7	単収増(ICT導入)	554	615	61	1.6	-	-	-	-
					小計	-	-	-	2.4	18	43	28	12
				1.3	作付増	-	-	643	8.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	8.4	18	151	-	-
					飼料用米計	-	-	-	10.8	-	194	-	12
かんしょ	新設	0.1	0.9	0.1	単収増(乾田化)	1,267	1,419	152	0.2	-	-	-	-
				0.1	単収増(田畑輪換)	1,267	1,457	190	0.2	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.4	140	56	92	52
				0.8	作付増	-	-	1,609	12.9	-	-	-	-
					小計	-	-	-	12.9	140	1,806	31	560
					かんしょ計	-	-	-	13.3	-	1,862	-	612
小麦	新設	0.1	7.5	0.1	単収増(乾田化)	442	765	323	0.3	-	-	-	-
				0.1	単収増(田畑輪換)	442	508	66	0.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.4	52	21	84	18
				7.4	作付増	-	-	831	61.5	-	-	-	-
					小麦計	-	-	-	61.9	-	3,219	-	18
たまねぎ	新設	0.1	1.0	0.1	単収増(乾田化)	2,413	2,775	362	0.4	-	-	-	-
				0.1	単収増(田畑輪換)	2,413	2,775	362	0.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.8	100	80	91	73
				0.9	作付増	-	-	3,137	28.2	-	-	-	-
					小計	-	-	-	28.2	100	2,820	16	451
					たまねぎ計	-	-	-	29.0	-	2,900	-	524
水田計	新設 更新	16.7 -	28.7 -								12,698		3,309
かんしょ	新設	0.1	0.1	0.1	単収増(乾田化)	1,267	1,419	152	0.2	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.2	140	28	92	26
					かんしょ計	-	-	-	0.2	-	28	-	26
普通畑計	新設 更新	0.1 -	0.1 -								28		26
新設 更新											12,726		3,335
合計											12,726		3,335

- ・ 作付面積 : 各作物の作付面積は以下のとおり  
 「現況作付面積」 ・ 関係市の作付実績に基づき決定した。  
 「計画作付面積」 ・ 新設整備では、県、防府市の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
  
- ・ 単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり  
 「事業なかりせば単収」 ・ 新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
  
- 「事業ありせば単収」 ・ 新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。
  
- 「効果算定対象単収」 ・ 事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。  
 (作付増においては、地域の計画単収である。)
  
- ・ 生産物単価 : 農作物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・ 純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

## (2) 営農経費節減効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、飼料用米、小麦、たまねぎ、かんしょ

### ○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

### ○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
水稻 (区画整理) 【個人→法人】	円 4,741,440	円 855,277	円 -	円 -	円 3,886,163	ha 10.8	千円 41,970
飼料用米 (区画整理) 【個人→法人】	4,336,234	694,335	-	-	3,641,899	2.2	8,012
小麦 (区画整理) 【個人→法人】	3,474,988	865,013	-	-	2,609,975	7.5	19,575
たまねぎ (区画整理) 【個人→法人】	5,863,684	3,219,077	-	-	2,644,607	1.0	2,645
かんしょ (区画整理) 【個人→法人】	4,425,211	2,186,380	-	-	2,238,831	1.0	2,239
水稻 (区画整理) 【法人→法人】	3,895,418	855,277	-	-	3,040,141	1.3	3,952
飼料用米 (区画整理) 【法人→法人】	3,606,712	694,335	-	-	2,912,377	1.8	5,242
水稻 (区画整理) 【認定→認定】	3,209,171	1,524,936	-	-	1,684,235	3.2	5,390
新 設							89,025
更 新							-
合 計							89,025

### ・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

- ・ 現況営農経費 : 地域の営農経費であり、生産費調査等の実態調査に基づき算定した。
- ・ 計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、山口県の高性能農業機械の導入に関する指針を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。

### (3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

農道、用水路、揚水機場、排水路

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		6,283	4,047	2,236
更新整備		1,053	6,283	△ 5,230
合計				△ 2,994

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

#### (4) 耕作放棄防止効果

○効果の考え方

事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）に耕作放棄の発生が想定される農地が有している作物生産量をもって年効果額を算定した。

○対象工種

区画整理

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば発生が想定される耕作放棄地が有している作物生産の総効果額  
×還元率

○年効果額の算定

区 分	総効果額 ①	割引率	効果算定 期間	還元率 ②	年効果額 ③＝①×②
	千円		年		千円
新設整備	101	0.04	47	0.0475	5

- ・ 総効果額 : 単位面積当たり効果額を基に、各年の事業なかりせば発生する耕作放棄面積を乗じた年別効果額に割引率を適用して算定した割引後の年別効果額を総計して算定した。
- ・ 還元率 : 総効果額を効果算定期間における年効果額に換算するための係数。

## (5) 農業労働環境改善効果

### ○効果の考え方

事業の実施により、営農に係る労働が質的に改善（労働強度の改善、精神的疲労の軽減等）される効果であり、市場で扱われていない価値であるため、受益者にWTP（Willingness To Pay：支払意思額）を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM（Contingent Valuation Method：仮想市場法）により効果を算定した。

### ○対象作業

隣接農地、耕作者との調整、水路管理作業、用水供給に係る作業軽減  
排水性の低いほ場での作業

### ○効果算定式

年効果額 = 労働改善に対する支払意思額 × 受益面積

### ○年効果額の算定

作業負荷軽減対象作業名	作業負荷軽減対象作業方法			労働改善に関するWTP (円/10a/年)		受益面積 (ha)		年効果額 (千円)	
	事業なかりせば	現況	計画	更新分	新設及び機能向上	更新分	新設及び機能向上	更新分	新設及び機能向上
				①	②	③	④	⑤= ①×③	⑥= ②×④
隣接農地、耕作者との調整	—	隣接農地、耕作者との調整必要	隣接農地、耕作者との調整不要	—	3,000	—	20.2	—	606
水路管理作業	—	開水路のため水路管理作業大	パイプラインのため水路管理作業小	—	3,273	—	20.3	—	665
用水供給に係る作業軽減	—	現地目視による用水調整	遠隔操作による用水調整	—	3,818	—	20.3	—	775
排水性の低いほ場での作業	—	降雨後の作業の待ち時間大	降雨後の作業の待ち時間小	—	3,727	—	17.1	—	637
合計									2,683

・労働改善に関するWTP : 受益者に対するアンケート調査結果から得られた、労働改善に対する支払意思額

・受益面積 : 事業地区内における当該効果にかかる受益面積

## (6) その他の効果 (国産農産物安定供給効果)

### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により年効果額を算定した。

### ○対象作物

水稻、飼料用米、かんしょ、小麦、たまねぎ

### ○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額 (原単位)  
+ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額 (原単位)

### ○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産額 当たり効果額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤ = ① × ③ + ② × ④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	12,726	266,601	49	9.9	3,263
更新整備	-	-	49	9.9	-
合計	12,726	266,601			3,263

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額  
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした

### 3 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）〔改訂版〕「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和4年4月11日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

#### 【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、山口県農林水産部農村整備課調べ

#### 【便益】

- ・ 中国四国農政局統計部「平成29年～令和5年 中国四国農林水産統計データ集」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、山口県農林水産部農村整備課調べ